

2025年10月7日

各 位

会 社 名 カルナバイオサイエンス株式会社
代表者名 代表取締役社長 吉野 公一郎
(コード番号：4572)
問合せ先 取締役経営管理本部長 山本 詠美
(TEL： 078-302-7075)

BTK阻害剤docirbrutinib (AS-1763)とベネトクラクス等のBCL-2阻害剤の
組み合わせ医薬に係る日本における特許査定のお知らせ

当社が開発中のBTK阻害剤であるdocirbrutinib (AS-1763)とベネトクラクス等のBCL-2阻害剤との併用および合剤に関する組み合わせ医薬の発明（発明の名称：抗がん剤組成物、出願番号：特願2021-575856）が、日本特許庁の審査を受けた結果、特許権を付与するに値すると判断され、特許査定を受けましたのでお知らせいたします。この後、一定期間内に登録料を支払うことにより、特許登録となります。

日本における物質特許は既に成立しており、今回の特許査定により、docirbrutinibの特許ポートフォリオがより充実します。

本発明において、当社が開発中のBTK阻害剤であるdocirbrutinibとベネトクラクス等のBCL-2阻害剤との併用投与によってがんの治療効果が増強されることが見いだされました。本発明により、docirbrutinibを用いた、より効果が高く、経口投与のみで完結するなど利便性も高い治療の提供が期待されます。

当社は今後も開発品の特許ポートフォリオの強化に積極的に取り組んでまいります。

以上

BTK阻害剤docirbrutinib (AS-1763) について

docirbrutinibは、慢性リンパ性白血病（CLL）を含む成熟B細胞腫瘍（血液がんの一種）の治療を目的として開発中の経口投与可能なBTK阻害剤です。現在、2ライン以上の全身治療歴を有する慢性リンパ性白血病（CLL）・小リンパ球性リンパ腫（SLL）及びB細胞性非ホジキンリンパ腫（B-cell NHL）の患者を対象としたフェーズ1b試験を実施中です。これまでの臨床試験の初期結果及び非臨床試験の結果は、本剤の高い安全性と幅広い薬剤耐性変異型BTKに対する効果を示唆しており、既存のBTK阻害薬に対して不耐（副作用により投与継続が困難な状態）の患者及び薬剤耐性の発生により既存のBTK阻害薬が効かなくなった患者の新たな治療の選択肢となることが期待されます。